特集 青年委員会主催 防災キャンプ ストーリー

某日 青年委員会

青年委員会ってスポーツ交流、議員との意見交換、男女平等参画、料理教室・妊婦疑似体験とかさ、いろんなことやってきたよね！でも、青年層の交流をもっと深めるためには、宿泊行事で親睦を深めたいよね！念の為に言わせてもらうけど、飲みたいだけじゃないよ。基本はやっぱり、人材育成と仲間づくり！コ(飲)ミュニケーションが大事だよね！（笑）

亀井事務局長（当時）

さまざま論議した末、青年委員会のイベントは９月の防災月間に合わせ、「防災キャンプ」に決定！今回、講師をお願いした日本赤十字社群馬県支部の高野主事には、防災月間の大変お忙しい中、私たちの活動に共感いただき、お越しくださいました！

座学と意見交換だけでは楽しむ要素少ないし。昨年の尾瀬でのレクリーダー研修も良かったけど、体験型が基本だよね。予定している９月は季節も良い。野外活動はどう？防災月間だし、「自分が被災した時や被災地への支援活動などを想定して、防災キャンプ」で参加者が組織や家庭に持ち帰って、防災に繋げて欲しい！…いつか、婚活・合コンイベント、その名も“連コン”!?（笑）もやりたいね！

加藤委員長

やるからには、テントを設営して、寝袋で寝たり、食材の調達・調理は班単位で…いろいろやってみたいことはあるけどね！

まあ、多くの組合員に参加して欲しいから、あまりハードでもね。今回はキャンプ初心者や荒天を考慮して、ロッジを併設しているキャンプ場を会場に検討しますか？

学習の内容は、参加者が大きく印象に残って、組織や家庭に持ち帰って欲しい。早速、検討しよう！

田中副委員長（当時）

青年委員会主催
場所：宝台樹キャンプ場

男性21名
女性 3名

防災キャンプ

9/23 ㊏
13：00 ①オリエンテーション（他己紹介）
14：00 ②学習「災害への備え」
日本赤十字社群馬県支部 事業推進課 高野里映 主事
14：45 ③「救急法講習」
16：25 ④「災害シミュレーション」
17：00 ⑤飯ごう炊飯・バーベキュー／全体レク
9/24 ㊐
7：30 ⑥朝食（非常食体験）
9：00 ⑦救急法復習／シミュレーションゲーム

1日目

①オリエンテーション

まずは2日間の流れを説明。まだ表情が硬いですね（笑）

昨年のリーダー研修で“最優秀企画”に輝いた「一筆書き伝言ゲーム」で雰囲気づくり。

②学習

地震による被害例より、普段から建物の耐震性・家具の転倒防止などで被害を抑える。災害が落ち着いてから復興までは、自分のことは自分で備える。「自助」の力を高める！公的な支援が受けられるまでは助け合い、いのちを守り、暮らしをつなぐ備えを忘れない。「共助」の力を高める！

③救急法講習

三角巾を使った手当や毛布を使った患者の搬送方法について体験。

④災害シミュレーション

これまで学んだことを踏まえて実践。被害者の確認など優先順位の付け方や、実際の救助や手当を行ってみる。意外と動揺して、近くにいる助けやすい被害者から救助してしまう。

全体を見て状況判断するリーダーが必要だと実感した！

⑤飯ごう炊飯＆バーベキュー

飯ごうでご飯を炊きます。薪に着火する方法を伝授。中には薪にライターの火をつける人もいましたが、無事にご飯も炊けて交流開始。レクの成果もあって最初の緊張感からは、うそのように盛り上がります。

2日目

⑥朝食！

保存食（缶パンとアルファ化米）を試食。おっ、以外に美味しい。

⑦災害対応シミュレーションゲーム

コミュニケーション研修や防災学習に役立つ、神戸市消防局が作成したカード型の教材でグループ学習。

最後に

研修を通じて参加者より、「災害時には情報処理能力や相手に正確に伝える能力を併せ持つ必要があることを学んだ」「一人の力だけでなく複数人が協力することで迅速に対応ができることを実感した」「単組ではなかなかできない体験ができた！」など、さまざまな意見をいただきました。次回はもっとＰＲして、多くの方に青年委員会の活動に参加をしていただきたいと思います！